



汐見の和

横浜市立汐見台小学校
令和4年1月7日
学校だより1月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子

電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409

ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



未来を創造する力

校長 犬塚 真

新たな年を迎えました。本年もよろしくお願いたします。横浜は晴天に恵まれ、文字通り晴れやかなお正月となりました。一方、年越し寒波の襲来で日本海側を中心に大雪に見舞われた箇所もありました。帰省などをされた皆様は大丈夫だったでしょうか。



あけまして
おめでとうござります

昨年12月23日には、汐見台小学校の「55周年を祝う会」を行いました。コロナ禍ということもあり、放送による会となりましたが、各クラスからのビデオメッセージには学校の好きどころや感謝の言葉が盛り込まれ、心温まる会となりました。この会に合わせて、PTAより子どもたちの手形文字と学校の航空写真が入ったクリアファイルを配付しました。航空写真は旧校舎の解体工事と新校舎の建設工事のちょうど合間に撮影したもので、汐見台小学校の歴史の転換期が収められています。

さて、年の初めになると「一年の計は元旦にあり」ということわざがよく用いられます。書き初めて自分の目標を掲げる子どもたちも多くいます。また、安井息軒（やすい そっけん）という江戸時代の儒学者は「一日の計は朝にあり、一年の計は春にあり、一生の計は少壮の時（若い時期）にあり」という「三計の教え」を説いています。何事もまず初めにしっかりと計画を立て、その計画に沿って一日一日を大切にしながら精進せよという教えだそうです。



野球界で数々の記録を塗り替えたイチロー氏は、小学校時代の作文でプロ野球選手になる夢と、そのために今自分がしていること、これから先にしなければならないことを明確に書き記していたそうです。夢という言葉は現実離れたものを指すことありますが、目標を階段のように構築することで、その夢と現実はつながっていくものなのでしょう。

イチロー氏の輝かしい功績は、「三計の教え」にもあるように、若い時期に人生のビジョンをしっかりと構築し、その後もさらなる高みを目指しながら一つ一つの目標を達成してきた積み重ねの上にあるのだと思います。これはとても立派なことですが、そう簡単に成し遂げられるものではありません。

昨今、時代はめまぐるしく移り変わり、今の子どもたちが大人になる頃には多くの仕事がAIに置き換わっていくだろうとも言われています。また、終身雇用もはや当たり前ではなくなりつつあります。

そのような時代を生き抜く子どもたちには、人生のどのステージにおいても、臨機応変に未来を描く力が求められるのではないのでしょうか。「三計の教え」になぞらえれば、「少壮の時」であり続けるということになるのかもしれない。先の見えない時代と言われるからこそ、子どもたちにはたくましく未来を創造する力を育てていきたいものです。私たちは日々の授業の中で、学びのめあてや問題解決のプロセスを子どもたちに意識させるよう努めていますが、このような営みも、目標とビジョンをもつ力や未来に向かう姿勢の礎になっていくと考えています。

本年も子どもたちの夢と希望を育てる学校づくりに職員一同努めて参ります。保護者・地域の皆様におかれましても、幸せに満ちた年になりますようお祈り申し上げます。